



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 87 号

R4.11.18

文責 中西 勉



「個別最適な学び」と「協働的な学び」

昨日、未来教育デザイン代表の平井聡一郎先生を講師にお招きして、校内授業研究会を行いました。平井先生は、現在、ICT活用やプログラミング教育推進の第一人者として、全国でご活躍されています。そして、ICT活用やプログラミング教育は、学習指導要領で目指す「個別最適な学び」や「協働的な学び」を支える貴重な“手段”であると言っておられます。つまり、タブレットやICT機器を使って学んでいけば良いのではなく、タブレットやICT機器を活用した「個別最適な学び」を通して、いかに一人一人の論理的思考力を培うか、また、「協働的な学び」を通して、個々のコミュニケーション能力を伸ばすかが重要であるということです。本校は、先駆的にICT活用やプログラミング教育に取り組んできていますが、昨日、平井先生からご指導をいただき、真のねらいに焦点を当てた教育を継続していくことを、改めて全職員で確認しました。

昨日は、5組、2年1組、4年1組の3学級が研究授業を行いました。5組は、生活単元学習で、レストランでお客さんに料理を運ぶ配膳ロボットの動きをプログラミングしました。2年1組は、音楽科で、タブレットの音楽アプリを使って身の回りの音をキャッチし、それを元に自分だけの曲を作ることに挑戦しました。4年1組は、社会科で、パソコンを使って都道府県の名称や特徴を紹介するクイズを作成しました。いずれの授業でも、子供たち一人一人がタブレットやパソコンを活用し、自らの考えを元にプログラミングを進める「個別最適な学び」が実現できました。さらに、一人一人が自分の考えを構築した後、友達と情報交換しながらより考えを深めていく「協働的な学び」の姿も見られました。こうして、今の学習指導要領で目指す学びを経て、子供の論理的思考力やコミュニケーション能力は着実に高まりを見せました。子供たちが、多様な価値観にあふれたこの時代を、自らの力でより良く生きていくためにも、今後も子供たちの力が確かに育つ学びを積み重ねていきたいと思います。



5組



2年1組



4年1組



【4年】名古屋市科学館の見学

朝から秋晴れに恵まれた今週16日（水）、4年生が名古屋市科学館へ見学に出かけました。プラネタリウムを始め、自らの目や手で直接的な科学的な事象に触れて学んだことは、大変貴重な経験となりました。

